

SPAC秋→春のシーズン2024-2025

10月2日(水)中高生鑑賞事業で開幕！一般公演19日(土)より

『イナバとナバホの白兔』・
『象』・『メナム河の日本人』

平素より、SPAC-静岡県舞台芸術センターに格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

SPACでは、毎年10月から3月にかけて「秋→春のシーズン」と題し、古今東西の名作戯曲などを芸術総監督・宮城聰と注目の演出家たちによる現代演出で連続上演しています。

今シーズンは3作品。開幕作品は宮城聰演出『イナバとナバホの白兔』、2016年にフランス国立ケ・ブランリー美術館との共同制作で発表された話題作が、待望のシーズン初登場です。続く2作目『象』は、被爆者の心情を通して戦争の悲惨さを描いた別役実の歴史的傑作です。そして年明け1月からは静岡ゆかりの偉人・山田長政の生き様を描く遠藤周作の『メナム河の日本人』を再演いたします。どうぞご期待ください。

◎中高生鑑賞事業公演 SPACeSHIP(スペースシップ)げきとも！

SPACのシーズンプログラムでは、平日に県内の中学生・高校生を対象とした招待公演を行っています。今年度は『イナバとナバホの白兔』静岡・浜松・沼津公演、『メナム河の日本人』静岡公演で実施。10,753人の中高生が鑑賞予定です(日程は公式サイトにて)。

●SPAC演劇サロン(SPACオープンクリエイション) 実施期間:2024年7月27日(土)~2025年1月18日(土)

SPACの稽古場に足を踏み入れ、創作過程を目撃する「サロン企画」。2023年度の『ばらの騎士』サロンの好評を受けて、今年度は「SPAC秋→春のシーズン」3作品で実施、一般19名・スカラシップ5名が参加しています。各作品の稽古見学や、SPAC文芸部による講座、出演俳優によるワークショップ、交流会も予定しています。 <https://spac.or.jp/spacsalon2024>

SPAC秋→春のシーズン2024-2025

#1 『イナバとナバホの白兔』 [再演/2016年初演]

構成・演出:宮城聰

台本:久保田梓美 & 出演者一同による共同創作 音楽:棚川寛子

出演:SPAC

「いなばの白うさぎ」の物語は、北米先住民ナバホ族の伝承神話にも存在していた?! 20世紀最大の思想家・文化人類学者のクロード・レヴィ=ストロースによる「アジアで生まれた神話の一体系が日本に伝わり、のちに北米にも伝わったのではないか」という仮説から、「その元になる神話」を宮城聰×SPACが演劇的想像力で読み解く壮大な祝祭音楽劇。フランスにおける非ヨーロッパ圏芸術の殿堂、フランス国立ケ・ブランリー美術館の開館の10周年記念作品としてSPACに委嘱され、2016年、静岡市・駿府城公園で野外劇版のプレ上演を経て、同館クロード・レヴィ=ストロース劇場にて初演されました。その後2019年に同美術館で再演された話題作がSPACのレギュラーシーズンに初登場します。

静岡公演 10月19日[土]、20日[日]、27日[日]、

11月3日[日祝]、4日[月休]、9日[土] (全6回) 各日14:00開演

静岡芸術劇場

浜北公演 12月7日[土] 13:30開演 浜松市福祉交流センター ホール

沼津公演 12月21日[土] 13:30開演 沼津市民文化センター 大ホール

▶▶関連企画TOPIC

静岡公演: <プレトーク、鑑賞講座、バックステージツアー 等> あり

浜松公演: <春華堂 プレゼンツ[浜松公演]小中高生鑑賞チケットプレゼント♪>

静岡県内の小中高生に鑑賞チケットをプレゼント。

10月13日(日)10:00より受付開始



写真:平尾正志

《応募方法》応募フォーム、もしくはSPACチケットセンター(電話)

※1組あたりの申し込みは3名様まで。

※先着順、定員に達し次第、受付を終了。

<バックステージツアー(ポルトガル語通訳付き)>

12月7日(土)終演後 所要時間:約30分

参加無料/要予約 定員40名 ※ご予約はSPACチケットセンターまで

* 全公演でポータブル字幕機貸し出しあり。

#2 『象』 [新作]

演出:EMMA(旧・豊永純子) 作:別役実 出演:SPAC

劇作家・別役実の伝説的傑作を今、語り継ぐ——

童話、エッセイ、評論など多彩な執筆活動で知られ、140作に及ぶ戯曲を発表し日本の不条理劇を確立したと称される劇作家・別役実。日本語の曖昧なコミュニケーションを意識して書き込み、人間社会の不安や空虚、疎外感を奇妙かつ詩的に仕立て上げる独特な作風で日本の現代演劇史にエポックを画しました。鈴木忠志(初代SPAC芸術総監督)らと新劇団「自由舞台」を結成し、その旗揚げ公演のため1962年に書き下ろされた『象』。その後も上演され続ける傑作戯曲に描かれた「ヒバクシャ」たちの心情、社会との距離は、閉塞感漂う現代にも映り込んでいきます。気鋭の演出家・EMMAが新たな息吹を吹きかけ、今なお戦争に揺らぐ“せかい”へと贈ります。



撮影: 牧田奈津美 (F4,5)

12月7日[土]18:30開演、8日[日]、14日[土]、15日[日]各日14:00開演 (全4回)

静岡芸術劇場

利賀公演 [SCOTサマー・シーズン2024] 9月7日(土)、8日(日) 会場: 富山県利賀芸術公園 創造交流館

本作は、鈴木忠志(富山県南砺市)、宮城聡(静岡県静岡市)、平田オリザ(兵庫県豊岡市)、中島諒人(鳥取県鳥取市)が2022年に設立した次世代の日本の演劇人と共同で作品を創造する「桃太郎の会」の参加作品として、9月に初演されました。

▶関連企画TOPIC

<スペシャルトーク>

「桃太郎の会」で上演された4作品のアーティストが、利賀および拠点各地での上演を経て静岡に集まりトークを開催。

12月8日(日) 終演後

出演:EMMA(『象』演出)、瀬戸山美咲(『野火』演出)、堀川炎(『野火』演出)、福永武史(『象』演出) 司会:宮城聡

<【平和学習プログラム】静岡の戦争の記憶を巡る街歩きツアー>

観劇前に静岡市内の戦跡を巡るツアーを行います。静岡平和資料センターで集合・見学後、ガイドで静岡市街地(駿府城公園周辺)を歩きます。

12月14日(土)日本語ツアー、15日(日)英語モニターツアー 各日 10:10~12:30

要予約、定員15名(先着順)

参加費 日本語ツアー1人1,000円/英語モニターツアー 無料

* 15日(日)の英語モニターツアーは、外国人など英語でのガイドを必要とする方が対象。

* 本企画と別日に『象』を予約された方も参加可。街歩きのみ参加はできません。

協力:静岡平和資料センター、NPO法人 静岡市観光ボランティアガイド 駿府ウェイブ

#3 『メナム河の日本人』 [再演/2020年初演]

演出:今井朋彦 作:遠藤周作 出演:SPAC

義のため、利のため、「理想の国」を追い求めた人間たちの物語

2020年コロナ禍での公演中断を経て、5年ぶりの再演!

17世紀初頭、己の才覚のみを頼りにアユタヤ王朝(タイ)にわたり、日本人傭兵部隊の隊長として重用されるまでに登り詰めた山田長政。作家・遠藤周作は、その波乱万丈の生涯を壮大な歴史活劇として鮮やかに描く一方、神父・ペトロ岐部との邂逅を創作し、自らの抱える「日本人」と「信仰」の問題を織り込みました。俳優としてテレビや映画でも活躍する今井朋彦の、人間模様とその心理を丁寧に読み解く演出が光ります。

2025年1月18日[土]、19日[日]、2月15日[土]、16日[日]、

3月2日[土]、2日[日](全6回)

各日14:00開演 静岡芸術劇場



写真 ©三浦興一

◎演出家プロフィール



Photo by 加藤孝

宮城聡(みやぎ・さとし)

演出家。2007年SPAC芸術総監督に就任。自作の上演とともに世界各地から現代社会を鋭く切り取る作品を紹介、また県内各地でのアウトリーチ活動にも力を注ぎ「世界を見る窓」としての劇場運営を行う。代表作に『王女メデア』『マハーバーラタ』『アンティゴネ』など。K-mix(静岡FM放送)レギュラー番組「宮城聡の頭のなか」出演中。

エマ

EMMA(旧・豊永純子)



演出家。1988年神戸市生まれ。農村歌舞伎保存会や地域の方々と共に創作するなど、文化や歴史をリサーチし、その地域に寄りそいながら制作することを大切にしている。近作は、劇団劇作家『玄海灘』短編集「覽古考新」(2024年/演出)、壁なき演劇センター『Light on Tennessee Williams』(2023年/作・演出)、ワールド・シアター・ラボ『ロッテルダム』(2023年/演出)など。京都芸術大学2024年度劇場実験として、EMMAが代表を務める共同研究が採択を受け、島にフィールドワークへ行くなど創作中。

今井朋彦(いまい・ともひこ)



1992年に文学座座員となり、2020年に退団。俳優として数多くの舞台に出演するほか、映像の分野でも精力的に活動中。また演出家としても、『パンドラの鐘』(野田秀樹作)、『Noises Off』(マイケル・フレイン作)、『セチュアンの善人』(ベルトルト・ブレヒト作)、『メモリアル』(松原俊太郎作)、『ねー』(小野晃太郎作)などを手掛けている。SPACでは2010年・13年に『わが町』(ソートン・ワイルダー作)を演出し、深い感動を呼んだ。

公演チケット

- 発売日 #1『イナバとナバホの白兔』 <静岡公演> ◆チケット販売中
 #1『イナバとナバホの白兔』 <浜北公演・沼津公演> ◆一般 前売り開始:10月13日(日)10:00
 #2『象』 //
 #3『メナム河の日本人』 ◆一般 前売り開始:11月3日(土)10:00

●料金(税込/全席指定)

一般:4,200円

U25・学生割引:[25歳以下および大学生・専門学校生]2,000円 / [高校生以下]1,000円

障がい者割引:2,900円(障害者手帳をお持ちの方)

●チケットお取り扱い *『イナバとナバホの白兔』浜松・沼津公演は他プレイガイドでの取り扱いあり。

SPACチケットセンター

TEL. 054-202-3399 (10:00~18:00, 休業日を除く)

ウェブ予約 <https://spac.or.jp/ticket>

『イナバとナバホの白兔』

主催・製作:SPAC-静岡県舞台芸術センター ふじのくに芸術祭共催事業

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会、一般財団法人地域創造

[浜松公演] 後援:浜松市教育委員会、公益財団法人浜松市文化振興財団 協賛:有限会社 春華堂

[沼津公演] 共催:沼津市教育委員会、公益財団法人沼津市振興公社

『象』 令和6年度日本博2.0事業(委託型)

主催:公益財団法人利賀文化会議、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁 共催:公益財団法人静岡県舞台芸術センター

『メナム河の日本人』

主催・製作:SPAC-静岡県舞台芸術センター ふじのくに芸術祭共催事業

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

後援:静岡市、静岡市教育委員会、静岡日タイ協会、静岡宣言通り商店街振興組合



お問い合わせやご取材は、「SPAC-静岡県舞台芸術センター 広報担当 坂本/計見/西村/佐藤」までご連絡下さい。

TEL:054-208-4008(静岡県舞台芸術公園) / FAX:054-203-5732 / E-mail: koho@spac.or.jp